

宮田 大

チェロ・リサイタル 2018

DAI MIYATA
Cello Recital 2018

◆サン=サーンス:

白鳥 (「動物の謝肉祭」より 第13曲)

Camille Saint-Saëns: Le cygne from Le carnaval des animaux, No. 13

◆フォーレ:

夢のあとに (3つの歌 op.7より 第1曲)

Gabriel Fauré: Après un rêve from Trois mélodies, op. 7-1

◆ドビュッシー/小林幸太郎 編:

小組曲

Claude Debussy (arr. Kotaro Kobayashi): Petite Suite

◆ブリテン:

チェロ・ソナタ ハ長調 op.65

Benjamin Britten: Cello Sonata in C Major, op. 65

◆フランク:

ソナタ イ長調 (チェロとピアノ編)

César Franck: Violin Sonata in A Major (arr. for Cello and Piano)

ピアノ:ジュリアン・ジェルネ Piano: Julien Gernay

※都合により、曲目・曲順等内容の一部が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

豊穡の響き、至福のチェロ。

2018. 2/8 (木) 7:00PM開演

6:30PM開場

京都コンサートホール 小ホール
[アンサンブルホールムラタ]

Thursday Evening, February 8, 2018, at 7:00
Ensemble Hall Murata (Kyoto Concert Hall)

●京都市左京区下鴨半木町1-26
●地下鉄烏丸線「北山」駅下車、③・①出口から南へ徒歩約5分

¥4,500 (全席指定/消費税込み)

●2017.11/10(金)10:00AM発売

○京都コンサートホール 075-711-3231

○チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:348-673]

○ローソンチケット 0570-00-0407 [Lコード:54216]

○CNプレイガイド 0570-08-9990

○イープラス <http://eplus.jp/otonowa/>

○高島屋京都店7Fチケットショップ ※店頭販売のみ

○ロームシアター京都 075-746-3201

○otonowa 075-252-8255

※電話予約のみ/郵便振替口座:00960-8-322727 加入者名:オトノワ

※未就学児の同伴・入場はお断りします。

主催:国際音楽交流研究所/otonowa
後援:公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

お問合せ:otonowa 075-252-8255
[10:00AM-6:30PM/日曜・祝日休み 土曜不定休]

otonowa

www.otonowa.co.jp

DAI MIYATA

Cello Recital 2018

宮田大 チェロ・リサイタル 2018

20世紀を代表するチェリスト、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチの名を冠した、世界で最も権威あるチェロの国際コンクール「第9回ロストロポーヴィチ国際チェロ・コンクール」を日本人として初制覇し、一躍その名を世界に轟かせた宮田大。

以来、たゆまぬ研鑽と精力的な演奏活動で着実にキャリアを重ね、名実ともに世代を代表するチェリストとして期待と注目を集め続けてきました。30歳の節目となる2016年には、サントリーホール(東京)・いずみホール(大阪)で無伴奏チェロ・リサイタルを開催、満場の聴衆を大いに魅了し、音楽界に大きな話題を提供した事も記憶に新しい出来事です。

さて、2016年6月以来となる京都でのリサイタル、今回はフランス音楽のエッセンスが光るプログラム。サン=サーンス、フォーレの愛すべき小品、また、原曲はピアノ4手連弾作品であるドビュシー「小組曲」を、宮田大がどのようにチェロで奏で歌わせてくれるか大いに期待が高まります。前半を締めくくるのは作曲家自らのピアノ演奏でロストロポーヴィチによって初演されたブリテンの名ソナタ。

プログラム後半はフランクの傑作ソナタをたっぷり。原曲はヴァイオリンのための曲ですが、宮田自身「チェロのために書かれたとしか思えないほどチェロにじっくりくる曲」と評し、常々愛奏する作品です。全編にあふれる詩的情緒はエスプリに富み、まさにフランスらしい1曲。ピアニストは、フランクと同郷のベルギーに生まれ、フランスで研鑽を積んだ盟友ジュリアン・ジェルネ。

古都の晩冬の一夜、二人が紡ぐ豊穡の響きで心温まる至福の時をお過ごしください。



宮田大 (チェロ) Dai Miyata, Cello

栃木県宇都宮市出身。音楽教師の両親のもと3歳よりチェロを始める。幼少よりその才能は注目をあつめ、9歳より出場するコンクール、第74回日本音楽コンクールを含む、すべてに第1位入賞を果たす。

2009年、第9回ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールで日本人として初優勝、第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第20回出光音楽賞、第13回ホテルオークラ音楽賞など華やかな受賞歴を持つ。第35回江副育英会奨学生。ローム・ミュージックファンデーション奨学生。桐朋学園音楽部門特待生、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースを首席で卒業。2009年にジュネーヴ音楽院卒業、2013年6月にクロンベルク・アカデミー修了。

チェロを倉田澄子、フランス・ヘルメルソンの各氏に、室内楽を東京クワルテット、原田禎夫、原田幸一郎、加藤知子、今井信子、リチャード・ヤング、ガボール・タカーチ=ナジの各氏に師事する。

国内外で活発にコンサート活動を行い、パリ管弦楽団、フランクフルト・シンフォニエッタ、S.K.ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団などと共演。小澤征爾、E.インバル、H.ホリガー、リン・ハレル、ギドン・クレーメル、ユーリ・バシュメット、マキシム・ヴェンゲーロフ、また、日本を代表する多くのオーケストラ・演奏家と共演している。演奏活動の他、国際チェロコンクールの審査員としても招聘されている。

マスメディアへの出演も多く、「小澤征爾さんと音楽で語った日〜チェリスト・宮田大・25歳〜」(芸術祭参加作品)、「カルテットという名の青春」[NHKワールド「Rising Artists Dai Miyata」]などのドキュメント、「クラシック倶楽部」「らららクラシック」「題名のない音楽会」「報道ステーション」「日経スペシャル招待席〜桐竹勲 文楽の深淵」「徹子の部屋」などへ出演している。

水戸室内管弦楽団団員。

CDは「Dai First」(2011)、「宮田大 ~チェロ一會集~」(2014)、第3弾「木洩れ日」(2017)をリリースしている。DVD/ブルーレイは「ハイドン:チェロ協奏曲第1番 -指揮:小澤征爾/水戸室内管弦楽団-」がある。

使用楽器は1698年製A.ストラディヴァリ「Cholmondeley」(上野製菓)、1710年製M.ゴフリラー(宗次コレクション)である。

オフィシャルサイト <http://www.daimiyata.com>

ジュリアン・ジェルネ (ピアノ) Julien Gernay, Piano

1981年、ベルギーのナミュール生まれ。幼少よりピアノとヴァイオリンを始める。ピアノとヴァイオリンと室内楽で一等賞を獲得し、ニース音楽院を卒業。同時に和声と伴奏を学んだ。1999年、パリ国立高等音楽院に入学し、ミシェル・ペロフ、デニス・バスカル、クリスチャン・イヴァルディ、ダリア・ホヴォラのもとでピアノを学ぶ。メナヘム・プレスラー、ドミトリー・バシキエフ、ジャン=クロード・ペネティエ、ヤーン・シュ・シュタルケルの各氏にも師事し、ピアノと室内楽で一等賞を獲得。

2007年エリザベート王妃国際音楽コンクール、セミファイナリスト。リスボンの国際ピアノ・コンクールでヴァンドーム賞を受賞。フランス・ナティクシス財団の受賞者でもある。また、フランス財団よりドルエ・ブルジョワ賞とタラツィ賞を授与された。

マントン音楽祭、フェスティバル・ア・ランペリ、パリオール・ノワール音楽祭、アントルカストー室内楽、サントーニュ・ピアノ音楽祭をはじめ、さまざまな音楽祭から招かれている。ワローニア王室室内管弦楽団と指揮者ポール・グッドウィンと共演した際には、ピアノ部門において特別賞を受賞した。

現在、演奏家として幅広く活躍するほか、パリ国立高等音楽院、エコール・ノルマルにて後進の指導にもあたっている。



待望の3rd albumは、現在の宮田大を映し出す、等身大の愛楽曲集

音楽は、日に時に、うつろう木洩れ日のよう。
いま見た光、また逢う光一。

木洩れ日 - komorebi - / 宮田大

NF-25503 ¥2,800+税

- | | | |
|----------------------|----------------------|---------------------|
| 1. 夢のあとに (G.フォーレ) | 2. 吟遊詩人の歌 (A.グラズノフ) | 3. シシリエンヌ (G.フォーレ) |
| 4. カフェ1930 (A.ピアソラ) | 5. グランタンゴ (A.ピアソラ) | 6. 白鳥 (C.サン=サーンス) |
| 7. 火祭りの踊り (M.d.ファリャ) | 8. アヴェ・マリア (G.カッチーニ) | 9. コル・ニドライ (M.ブルッフ) |

チェロ:宮田大 / ピアノ:ジュリアン・ジェルネ
使用楽器:アントニオ・ストラディヴァリ「シャモニー」(1698年製) 使用ピアノ:ペーゼンドルフアー 275
収録:神奈川県立相模湖交流センター (2016年11月23日〜25日)

●お買い求めは、宮田大 Official online Shop で! <http://daimiyata.buysshop.jp/>

絶賛
発売中!

